

## 令和6年度全国高等学校柔道選手権大会 が

柔道の聖地『日本武道館』において執り行われました。

【大会結果】

**女子個人52kg級** 緒方 心夏 (土浦市立土浦第四中学校出身) **ベスト16** (3回戦敗退)

**男子個人60kg級** 荒川 克樹 (つくば市立谷田部東中学校出身) 2回戦敗退

**女子個人48kg級** 大里 慶咲 (つくば市立豊里中学校出身) 初戦敗退



【試合前の凛々しい表情の3名の選手達】



【3回戦、大外刈で攻める緒方選手 (写真右)】



【第1試合の直前 集中する荒川選手】



【初戦。果敢に攻める大里選手 (写真右)】

### 【戦評】

荒川選手：高校に入って初の全国大会、初めて柔道の聖地である日本武道館での試合、そして本大会の第1試合目と初めてのことが重なり大分緊張した面持ちからのスタートとなった。

初戦は大分県の選手。自分より小柄な選手ということで、少しやりにくさがあった様子。お互いに相手の攻防で出だしを探る展開だ。荒川はやはり相手が小柄ということで少し攻めあぐねてしまう。相手選手が攻勢を強め指導①をもらう。しかしながら落ち着いた試合さばきで逆に相手の偽装攻撃を誘い、相手選手に指導①。そのまま本戦が終わる。GS(延長戦)に突入し、終始冷静な荒川。投げが難しいと判断し、ここからは寝技の勝負に持ち込む。相手選手も荒川の立技から寝技への移行に対応できず腕がらみをしてしながら横四方固めに決めて一本勝ち！全国大会初勝利をもぎ取る！

2回戦。相手は全国中学校柔道大会チャンピオン。大阪府の選手。序盤から攻勢に進めたかったが、相手の組手の上手さになかなかうまく進められず。組際の技や十分でないところからも技を出し、何とか解決しようと攻めるも相手に処理されてしまう展開が続く。こうなると攻める手立てが無くなっていき、こちらの守る場面が多くなってしまい結果、指導③の反則負けで敗退が決まった。

